平成30年度　世田谷区立桜丘小学校　学校関係者評価委員会からの提言

本年度、本委員会は学校関係者評価の結果に基づき、次の3観点で桜丘小学校へ提言します。
1、「学校に対する関心が高く、好意的な保護者」の期待に応える
2、「相手に対する心、気持ちを形で表せる子供」の育成
3、「体を丈夫にし、明るい心をもつ子供」の育成

【学校関係者評価委員会】　◎委員長
◎稲田　正克：地域、元目黒区立小学校長
菱川　晃夫：学識経験者、国士舘大学教授
二川　早苗：元保護者、地域、日本家庭教育学会副理事長
元世田谷区立小学校PTA連合協議会長
松原　信行：元保護者、元PTA会長、同窓会長
国士舘中学・高等学校保護者役員
石綿　陽子：保護者、PTA役員
毛受　直子：新BOP事務局長

◆　調査の概要　◆

1、実施日
① 児　童　　平成30年11月28日
② 保護者　　平成30年11月15日から28日
③ 地　域　　平成30年11月20日から28日
2、実施・回収の方法
① 児　童　　教室で実施・回収
② 保護者　　各家庭で実施・特製封筒に入れ、担任を通じ回収
③ 地　域　　学校協議会委員の方々へ郵送し、郵送で回収
3、回収率　下表

① 保護者

	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年
H30	96.9	97.6	95.9	97.8	97.6	93.2	96.4
H29	92.3	95.9	95.6	95	87	86.6	94.8
H28	87.4	86.8	89.2	87.7	84.5	94.7	83.1

② 地　域

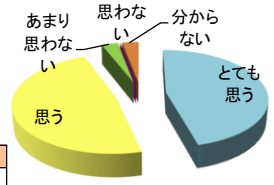
	全体
H30	45.2
H29	48.8
H28	51.3

4、結果概要の捉え方
① 肯定派
「A、とても思う」「B、思う」の合計（%）
（※表中では「肯定」と略称で記載）
② 満足度が非常に高い
肯定率が85%以上
③ 満足度が低い
肯定率が65%未満の項目
④ 周知徹底の必要あり
「E, わからない」が15%以上の項目

5、結果概要からの全体考察
学校が組織体として、学校の重点目標を中軸に、校長をはじめ教職員が協力して教育活動にあたっていることを高く評価されている。また、安全・安心な学校づくりについても、極めて高い評価を得ている。
教職員についても関係者評価（保護者）の「教育活動に熱心に取り組んでいる。」の肯定的評価は、92%（昨年度91%）、「保護者に対して丁寧な説明や対応をしている。」の肯定的評価は、91%（昨年度87%）と高い信頼を得ていることがわかる。しかし、これを学級ごとのデータでみると、極めて高い評価の学級もあれば、全体より10～15ポイント低い評価の学級もある。
今年度の学校運営や教職員に対する高い評価に甘んじることなく、学校の教員の使命である「子供たちによい学習習慣を付けさせる」ための授業力向上や、「子供たちの手本となる言動を示す」ためのマナーの向上などを目指すべき具体的な姿として引き続き研鑽に努め、改善していくことを課題としていただきたい。また、「子供のいるところには、教職員がいる。教職員のいないところには、子供もいない。」を教員の基本行動指針として徹底し、危機管理体制の更なる充実を実現してほしい。

「回収率の高さ」に示される保護者からの信頼を維持、発展
学校に対する関心が高く、好意的な保護者

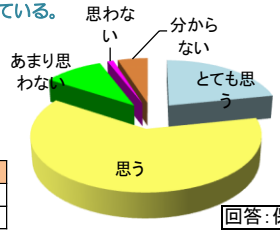
校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる



H30	94%
H29	89%
H28	86%

回答：保護者

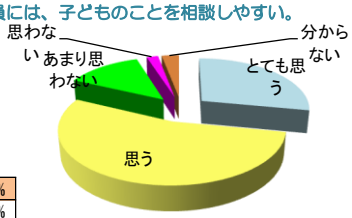
本校では、授業をとおして、子どもたちに学力がついている。



H30	85%
H29	81%
H28	76%

回答：保護者

本校の教員には、子どものことを相談しやすい。



H30	82%
H29	79%
H28	72%

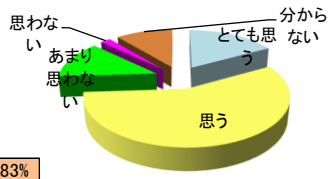
回答：保護者

◆学校関係者評価アンケート＜以下、評価アンケート＞（保護者）の回収率が平成28年度の87.4%、平成29年度の92.3%、そして、今年度は、96.9%と10%近く伸びている。保護者の学校に対する関心の高さの現れと捉えていいであろう。
◆評価アンケート（保護者）の44設問中、平成29年度は、満足度が非常に高い項目が25設問であった。それが、今年度は、32設問と7設問増えた。学校の教育活動等に好意的な意見をもつ保護者が非常に多いことの現れと捉える。
◆評価アンケート（保護者）の広報活動・情報提供の設問では、「保護者に対して丁寧な説明や対応」の肯定派が91%、「学校公開や保護者会をとおして、学校の様子がわかる」の肯定派が91%、「HPがわかりやすい内容」の肯定派が89%と非常に高い。広報活動・情報提供の充実度が見て取れる。

＜提言＞上記の関心の高さ、好意的な見方を維持し、更に高めるのは、本来の学校の使命である子供たちに学ぶ喜び、楽しさ、面白さを味わわせる授業の充実。また、学校と保護者の連携、協力を深めるためにも、児童のことを中軸にした報告・連絡・相談の充実が求められる。

「思いやりのある、優しい子供」の育成
相手に対する心、気持ちを形で表せる子供

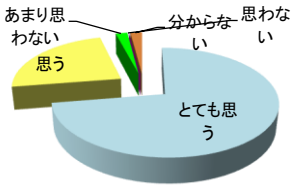
本校では、子どもたちに問題となる行動が少ない。



H30	83%
H29	81%
H28	74%

回答：保護者

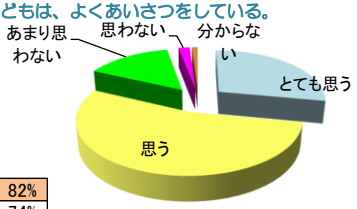
わたしは、自分と友達を大切にしている。



H30	94%
H29	91%
H28	―

回答：児童

私の子どもは、よくあいさつをしている。



H30	82%
H29	74%
H28	75%

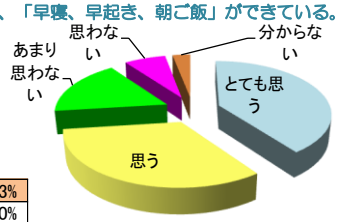
回答：地域

◆評価アンケート（保護者）の児童の問題行動の減少に対する肯定派が、平成28年度には50%と非常に少なかったのが、平成29年度の64%、そして、今年度の74%と他の設問にない伸びを示している。今年度の肯定派がまだ非常に多いわけではないが、学校の以下の取組が効果となって現れていると考えられる。
○重点目標に「あいさつがあふれる学校づくり」を位置付け、継続、拡充して取り組んでいる。
○「花の子スタンダード2018」を策定し、学習・生活指導の充実に継続・拡充して取り組んでいる。
○『世田谷区道徳教育センター校』として、「特別の教科　道徳」の研究に今年度から取り組んでいる。

＜提言＞「他者を大切にする」「気持ちのよいあいさつのできる」児童の更なる育成を図るため、全校朝会や学年朝会、また「特別の教科道徳」を中軸に全ての教育活動を通じ、繰り返し指導を充実、発展させていただきたい。

「快食・快眠・快運動」の継続、充実
体を丈夫にし、明るい心をもつ子供

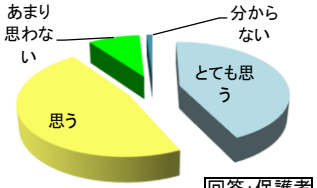
わたしは、「早寝、早起き、朝ご飯」ができている。



H30	73%
H29	70%
H28	―

回答：児童

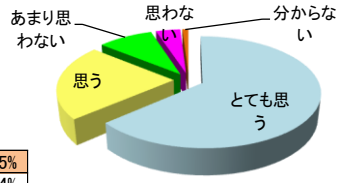
わたしは、子供に「早寝、早起き、朝ご飯」を努めさせている。



H30	90%
H29	87%
H28	―

回答：保護者

わたしは、外で元気よく遊んでいる。



H30	85%
H29	84%
H28	73%

回答：児童

◆世田谷区教育ビジョン「心と体の元気アップ『世田谷3快プログラム～快眠・快食・快運動』」の下、学校・家庭・地域が協力・連携を図り、健康や食育の指導をとおして、健康やよりよい食についての知識や食習慣を身に付けさせることをここ数年、推進してきている。この一環として、講師を招き、睡眠の重要性を講演していただいたり、保護者を対象に、子供たちの運動の必要性を啓蒙していただいたりしてきた。これらの取組の成果として、食については、児童の毎朝の摂食がほぼ実現できており、安定している。しかし、「早寝、早起き」については、実現率が高くない。6年生を対象にした文部科学省の全国学力・学習状況調査の中にも睡眠に関する項目があるが、本校の6年生は、全国平均よりも1時間近く就寝時刻が遅くなっている。

＜提言＞オリンピック・パラリンピック教育を契機に、「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ（オリンピック競技、パラリンピック競技・障害者スポーツ）」「文化（日本文化、国際理解・交流）」「環境」の4つのテーマに、「学ぶ（知る）」「観る」「する（体験・交流）」「支える」の4つのアクションを組み合わせた指導を計画的に実施し、それを「世田谷3快プログラム」へと継続、発展させていただきたい。児童の実態と保護者の捉え方とのズレを解消するためにも、「快眠・快食・快運動」の継続した指導や啓蒙活動も維持していただきたい。